

J R 東海 労 幹 関 西 地 「 申 」 第 21 号
2 0 1 3 年 1 1 月 1 日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 河原崎 宏之 殿

J R 東海 労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

「大仕両所における検修車激突事故」に関する緊急申し入れ

10月28日、大阪仕業検査車両所・庫5番線で、検修車（通称ネコ車）がレールを支える柱（通称ロウソク）に激突するという事故が発生した。

当時、ロウソクに枠組みが取り付けられており、ネコ車が通る通路が狭くなっていたにも関わらず、作業を行う・関係する社員には一切注意喚起等が行われなかったため、ネコ車がロウソクに激突したというものである。

幸いネコ車に乗っていた社員にはケガもなく大事には到らなかったが、一歩間違えれば大惨事となっていたことは想像に難くない。

何よりも安全な職場でなくては安心して検査もできず、安全安定輸送の完遂は当然絵に描いた餅となってしまう。

よって、下記の通り申し入れるので緊急に労使協議の場を設定すること。

記

1. 検修車に乗っていた社員に謝罪すること。
2. 事故の状況を具体的に明らかにすること。
3. 関係者間等における連絡体制について明らかにすること。
4. 事故原因となった、庫5番線のロウソクに取り付けていた枠組み等の設置・工事目的を明らかにすること。
5. なぜ工事期間中は庫5番線を空線にするか、ネコ車を使用しない仕業検査該当電車以外を入れなかったのか明らかにすること。
6. 今後、このような事故をなくすための対策を明らかにすること。

以上